



あせらず落ち着いて学び 笑顔でつながり 頑張らずに成長する 正しい判断力を持った勇気のある子どもの育成

【今回、本通信は電子媒体でのみ配信いたします。なお児童向けには先生方が教室に掲示して下さっております。】

本日は 平和学習をメインテーマ とする全校出校日でした。



今回の地震でお亡くなりになられた方々のご冥福と、81年前に被爆や戦争でお亡くなりになられた方々への黙禱後にオンラインで平和学習を行いました。6年生の皆さんの修学旅行【長崎原爆資料館内メモリアルホールに、福岡県飯塚市立伊岐須小学校の児童450名が折った千羽鶴を献納し、平和を願い長崎と広島で被爆して1945年当時にお亡くなりになった21万人の方々の冥福と私たちのこれからの未来の平和を誓って歌った「折り鶴」の歌をささげたこと】の報告会があったのです。

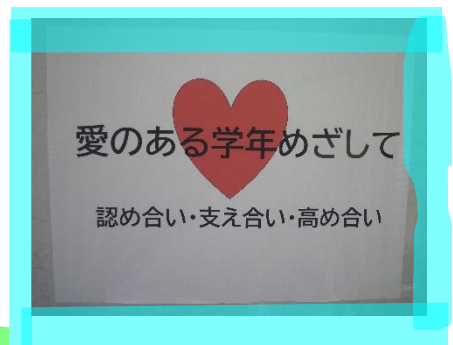
6年生は修学旅行前に、ノーベル平和賞を1昨年受賞された被団協（日本原水爆被害者団体協議会）のメンバーでいらっしやるとともにご自身が被爆者であり、私の恩師であられる荒木幸子先生の実体験のお話を聞いておりましたので平和への思いがひしひしと伝わってきました。実は、修学旅行当日、荒木幸子先生からお電話がありまして、「6年生の皆さんは、フィールドワークで雨に濡れていないかしら。」と心配していただいて入院先の病院からお電話をいただいております。奇跡的に晴天になりましたのは、6年生のみなさんが荒木幸子先生にお手紙を書いてくださったので担任の先生や私の手紙にしたための思いと子ども達の気持ちとが通じ合ったことを振り返れば振り返るほど千羽鶴に込められた平和への強い願いや思いからでは？と感じております。お休みして参加できなかったお友達の分まで「みんなで力を合わせて平和な世の中になりますように」と、大刀洗平和祈念館のことや、浦上天主堂や平和の泉や、原爆落下中心地の松山公園や、永井博士が生活されえていた如己堂や城山小学校で平和を願っていたお友達の勇気ある行動の数々を思い出しました。



さあ。次は、5年生の皆さんが、今日の仲間と先生方で折った474名の折り鶴1000羽を来年の修学旅行で献納するという心の

バトンを本日受け取りました。6年生のみなさん2026年（R8）度の報告や次年度につなぐ関わりの勇気ある行動（折り鶴製作のアシスト）をありがとうございました。5年生の皆さん来年度2027（R9）の修学旅行に向けてどうぞよろしくお願い申し上げます。”（-”-）あなたから世界へ・・・。

平和について自分事として考えていたお子さんの姿に感動しました



先生方も日々研修に励まれています！

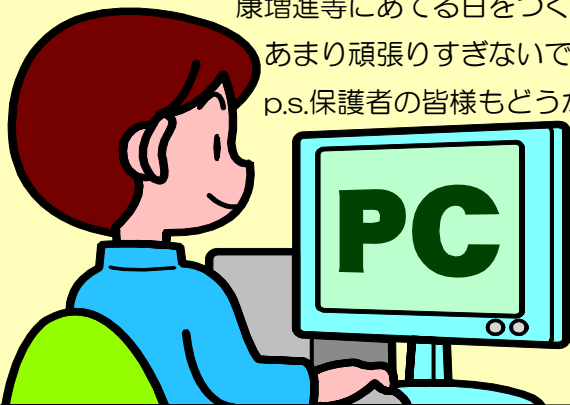


先生方は日常の学習指導や日々校内で実践をつまれ、校内での研究や校内での研修に尽力されています。

児童の皆さんが、学童保育や、自宅で学習している間は、先生方は、日頃できない研修を組まれて職員研修をされています。運動会の種目の選定や、ダンスの研修や練習、人権・同和研修や、ICT研修、児童生徒指導研修や、公務員倫理研修や危機管理研修、学力分析研修など教師同士が力を結集して一学期の総括と2学期に向けての研修に励まれています。また、学校を離れての県の教育機関への研修にも参加されていますし、所属していたり、新たに自ら希望されたりして教科の研修会（図画工作科や、体育科、社会科、理科、特別活動、特別な教科道徳、算数科、国語科など）へも学校外の教員との交流を積極的にはかりながら研鑽を積まれています。教師は、民間企業と同様お盆休みだけは取れます。しかし、教師という職業は保護者の負託にこたえなければならないという強い責任感を背負ってしまいがちな特異な職業であるため、休みにくい職業であります。先生方には勇気をもって年次休暇をとって病院での定期検診や、余暇や健康増進等にあてる日をつくっていただきたいと思います。

あまり頑張りすぎないでほしいなと願っております。

p.s.保護者の皆様もどうかご自愛くださいませ・・・。



以下の写真は先生方の様々なジャンルで活躍されている一般研修の様子です。大塚亜衣先生が進行役を務めてくださいました。各ジャンルのエキスパート教員や講師陣が研修を盛り上げてくださいました。



